

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2003年9月9日

2003年9月7日現在：

高温の日が続き、降雨の殆ど無い週となった。降雨は北中央地区（NC）で 0.03 インチを記録したのみであった。最高気温は 93～100（NC）度 F となり、平均気温は平年を 2～8 度 F 上回った。

1 週間の農作業可能日数は 7.0 日であった。

硬質春小麦（HRS）の収穫は全州の 97% で完了（昨年：91%、5 年平均：81%）した。デュラム小麦の収穫は全州の 92%（昨年：40%、5 年平均：57%）で終了した。このペースは、昨年並びに平年より極めて早い進捗である。完了まで後 10 日ほどである。土壌水分 Topsoil 及び Subsoil 共に、昨年並びに過去 5 年平均より極めて悪い状態となっている。

NW 地区の HRS の品位は 2002 年産と比較し、容積重は高く（平均 62.30lb/bu）蛋白質多少低目（平均 14.24%：水分 12%ベース）の数値となっている。Dockage は平均 1.0%。

ノースダコタ産 HRS で問題視される Scab（赤かび病）、及びカビ毒の DON（Deoxynivalenol、Fusarium 菌が一定条件で産出するカビ毒）発生は、今期の小麦成熟期の気象条件が多く の地区に於いて高温・乾燥であったことより、殆ど心配されていない。

8 月 1 日付けの USDA 小麦生産量予想では、HRS の単位収量は 7 月 1 日と同じ数値であったが、デュラム小麦の単位収量は 7 月 1 日予想より 2bu/acre 減少した。乳熟期に入ってから の高温・乾燥が影響したと言える。

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	44	41	15	0
Last week (%)	39	40	21	0
Last year (%)	14	27	54	5
Average (%)	12	25	55	8

Subsoil

This week (%)	37	40	23	0
Last week (%)	32	39	28	0
Last year (%)	16	30	51	3
Average (%)	10	23	60	7

Average: 1998～2002 年平均

デュラム小麦の進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year avg.
Combined (%)	92	81	40	57

次頁に続く：

HRS 小麦進捗状況 :

	This week	Last week	Last year	5-year avg.
Combined (%)	97	91	68	81

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service

8月1日付け USDA 春小麦の生産量予想 :

	Harvested Area 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushel		
	2002	2003	2002	2003		2001	2002	2003
				June 1	July 1			
Durum	1,950	1,850	25.0	29.0	27.0	54,600	48,750	49,950
H R S	5,900	6,300	28.0	36.0	36.0	234,600	165,200	226,800

2003 年産小麦品種 : <http://www.nass.usda.gov/nd/whtvar03.pdf> このページに作付け品種の明細が掲載されています。

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃: E-mail ogawa.max@omicnet.com